

自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 1, No. 1 神奈川県立 生命の星・地球博物館 June, 1995



ニホンジカ

Cervus nippon centralis Kishida

1983年9月丹沢山にて
高橋秀男氏撮影

中村一恵（当館学芸員）

中国大陸には18種ものシカ類が分布しているのに、現在の日本列島には、ニホンジカだけが生息している。日本産のニホンジカは6亜種に分類され、最大亜種は北海道のエゾジカ、最小亜種は屋久島のヤクシカである。ニホンジカの形態上の変異は、大陸産のシカ類5～6種に相当するもの

と考えられている。わが国にはたった1種のシカ類しか生息しないが、ニホンジカのもつ変異の大きさは、日本列島がいかに多様性に富む環境に恵まれているかの証しでもある。写真はニホンジカの一亜種、ホンシュウジカである。丹沢山地を中心に生息している。